

質 疑 応 答 書

| 番号 | 仕様書項目等 | 質 疑 | 回 答 |
|----|--------|--|---|
| 2 | 2.1.3 | <p>長手方向の透視・撮影可能範囲は、テーブル回転や被検者を動かすことなく160cm以上有すること。 →正面アームは固定タイプで深さは105cmです。</p> | <p>長手方向の透視・撮影可能範囲は、テーブル回転や被検者を動かすことなく105cm以上有すること。</p> |
| | 2.1.4 | <p>横手方向の透視・撮影可能範囲は36cm以上有すること。 →横手方向への移動は固定タイプのため実現できません。</p> | <p>可能であれば、横手方向の透視・撮影可能範囲は36cm以上有すること。</p> |
| | 2.1.5 | <p>Cアームのセッティングは頭側と、斜めもしくは横方向から挿入できること。 →固定タイプのため実現できません。</p> | <p>可能であれば、Cアームのセッティングは頭側と、斜めもしくは横方向から挿入できること。</p> |
| | 2.1.6 | <p>Cアームの回転角度は頭側位置で120°/120°(LAO/RAO)以上、50°/45°(CRA/CAU)以上であること。 →45°/45°(CRA/CAU)です。</p> | <p>Cアームの回転角度は頭側位置で120°/120°(LAO/RAO)以上、45°/45°(CRA/CAU)以上であること。</p> |
| | 2.1.7 | <p>Cアームの回転角度は斜め側位置で90°/90°(LAO/RAO)以上、50°/45°(CRA/CAU)以上であること。 →固定タイプのため実現できません。</p> | <p>可能であれば、Cアームの回転角度は斜め側位置で90°/90°(LAO/RAO)以上、50°/45°(CRA/CAU)以上であること。</p> |
| | 2.2.1 | <p>Cアーム回転範囲はLAO/RAO方向に120°/0°以上、CRA/CAU方向に45°/45°以上であること。 →LAO/RAO方向に90°/0°です。</p> | <p>Cアーム回転範囲はLAO/RAO方向に90°/0°以上、CRA/CAU方向に45°/45°以上であること。</p> |
| | 6 | 6.1.3 | <p>パルス透視は10種類以上のレートを有すること。 →4種類です。</p> |
| 8 | 8.3 | <p>焦点サイズは小焦点0.6mm以下、大焦点1.0mm以上を有すること。 →大焦点は0.8mmです。</p> | <p>焦点サイズは小焦点0.6mm以下、大焦点0.8mm以上を有すること。</p> |
| 9 | 9.5 | <p>テーブル高さは79cm以下、104cm以上であること。 →102cmです。</p> | <p>テーブル高さは79cm以下、102cm以上であること。</p> |

注 この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。なお、この用紙には業者名を記入しないこと。